

英国が生んだアカペラの「王様」

THE KING'S SINGERS

ザ・キングズ・シンガーズ



魅惑のディズニーソングと
永遠のスタンダード

ディズニーの名曲たち

『ライオン・キング』より「愛を感じて」
『ピノキオ』より「星に願いを」
『リメンバー・ミー』（原題:Coco）より「リメンバー・ミー」
『101匹わんちゃん』より「クルエラ・ド・ヴィル」
『アラジン』より「プリンス・アリ」
『白雪姫』より「いつか王子さまが」
『メリー・ポピンズ』より
「スーパーカリフラジリスティックエクスピアドーションシャス」
『ダンボ』より「もし象が空を飛べたら」
『リロ&スティッチ』より「アロハ・エ・コモ・マイ」

イギリス歌曲と ビートルズの音楽

ウィリアム・バード 「諸々の異邦人よ、主をほめまつれ」
「この心地よく楽しい五月」
トマス・ウィールクス 「おお主よ、われらが王に長き命を」
「トゥーレの国、地誌の時代」
ビートルズ 「ペニーレイン」
「イエスタデイ」
「オブ・ラ・ディ、オブ・ラ・ダ」 ほか

2024 **10.17** (木) 19:00開演 (18:00開場) **ザ・シンフォニーホール**

S10,000円 A8,000円 B6,000円 (全席指定・税込) 主催:ザ・シンフォニーホール

ご予約・お問合せ

■ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333(火曜定休) <https://www.symphonycall.jp>

プレイガイド

■E+ (イープラス) <https://eplus.jp/symphonycall> (パソコン・携帯)

■ローソンチケット <https://l-tike.com/symphonycall> [Lコード:56704]

■チケットぴあ <https://w.pia.jp/t/symphonycall/> [Pコード:265-490]

*未就学児のご入場はご遠慮いただいております。*やむを得ない事情により、出演者、曲目、曲順が変更になる場合がございます。予めご了承ください。
*公演中止・延期の場合を除いて、チケット代金の払い戻しは承りません。予めご了承ください。



文化庁

文化庁 劇場・音楽堂等における
子供舞台芸術鑑賞体験支援事業

英国が生んだアカペラの「王様」 The King's Singers

世界を魅了し続け、半世紀以上がたった。あのザ・キングズ・シンガーズが、2年ぶりにザ・シンフォニーホールに帰ってくる！英国のケンブリッジ大学のキングズ・カレッジの学生6人で結成されて以後、メンバーを変えながらも、その透明感のある豊かな歌声とクラシックから民謡、ジャズやポップスにいたる幅広いレパートリーで、世界を席卷してきた。2022年のクリスマス・コンサートでは、ザ・シンフォニーホールの満場の聴衆にクリスマス・ナンバーを中心に披露し、大好評を博したのは記憶に新しい。

10月17日の来日公演のテーマは「legacies(音楽の遺産)」。

ディズニーの人気曲、英国ルネサンス音楽とビートルズという構成だ。ディズニーのナンバーからは、「愛を感じて」(『ライオン・キング』より)、「星に願いを」(『ピノキオ』より)など、日本でもおなじみの人気曲を取り上げる予定。ザ・キングズ・シンガーズは国際色豊かなレパートリーを誇るが、自身のルーツである英国音楽にも注力してきた。今回は2023年に没後400年を迎えた英国ルネサンスの巨匠バードとウィールクスが歌われる。バードのリリカルな「この心地よく楽しい五月」、ウィールクスのユーモラスな「トゥーレの国、地誌の時代」といった曲が、新鮮な驚きをもたらしてくれるだろう。そして英国発の世界的グループであるビートルズの永遠の名曲の中から、「イエスタディ」他がプログラミングされた。ザ・キングズ・シンガーズならではの凝った編曲も楽しみにしたい。

文・伊藤制子

The King's Singers ザ・キングズ・シンガーズ

1968年、ケンブリッジ大学キングズ・カレッジの卒業生6人によって結成され、カウターテナー2名、テノール1名、バリトン2名、バス1名で構成されており、デビュー以来、この編成を守り続けている。歴代続く彼らは50年以上にわたって世界最高のステージでアカペラ歌唱の金字塔を打ち立ててきた。その比類ない音楽性と機知に富んだステージ・パフォーマンスで、デビュー後瞬間にイギリス音楽界でトップ・アーティストに昇りつめる。国際的にも人気を博し、今も尚アメリカ、アジア、オーストラリア、南米各国など世界中でコンサートを行っており毎年100万人以上の観客を動員し、世界最高のヴォーカル・アンサンブルとして評価を不動のものとしている。レパートリーは通算で2000曲以上にも上り、そのジャンルも中世のマドリガルからルネサンス、古典歌曲から現代、そして世界の民謡やジャズ・ポップスなど幅広い。またこれまでに20世紀、21世紀の多くの著名な作曲家に200作品以上を委嘱しており、その中にはベリオ、リゲティ、ペンデレツキ、武満徹、久石譲、ウィテカーなど各時代を代表する作曲家が含まれる。レコーディング活動も常に意欲的であり、これまでにグラミー賞2度受賞、エミー賞、そしてグラモフォン誌の初の殿堂入りを含む数々の賞を受賞。

毎シーズン世界中で100以上のコンサート、録音のスケジュールに加えて、教育・育成活動にも力を入れており、世界各地でマスタークラスやワークショップを開催している。2018年にはキングズ・シンガーズ・グローバル財団を米国に設立し、複数の分野にまたがる新しい音楽の創作を支援するプラットフォームを提供、新世代の演奏家を指導しあらゆる背景を持つ人々に音楽の機会を提供している。

